

初冬の夕日に映えた鈴鹿の山並み、そこには琴の音色のような色艶やかな紅葉があります。ときには、尺八の音色のような心に滲みる冷たい木枯らしが吹き荒れます。風に吹かれた枯葉は、尺八の音に合わせるかのように舞い踊り、互いに絡み合って足下から暗闇の中に去っていきます。(第10回)

音は自然が生み出す美の一つです。コンピューターで奏でる新しい音、インスタントの楽器からも心ときめくりズムの美しさがあります。琴や尺八などの伝統楽器からも心をなごませてくれるハーモニーの美しさがあります。新しい音楽は古い音楽の礎の上に成り立つものです。若者が新しい伝統を築くためにも古い音に馴染み味わうことが大切のように想います。(第13回)

暖かな甘えの中で育った心身は冷え切った冬の世相に呼応しきれず、陰と陽のバランスを保持するバネが切れると崩壊してしまいます。音楽は心のバランスを保持するのに欠かせないものです。生命活動には運動と休息が必要であるように、音楽にも陰と陽のバランスが必要です。夏の太陽のような輝きをもつロックの音楽ばかりにとらわれず、仲秋の名月のような淡い光を放つ日本の伝統音楽にも興味を示し、陰の方のバネを少しでも補強して頂ければと願っております。(第14回)

民族音楽は、その土地の自然景観や住民の生活リズムを偲ばせてくれます。ラテン音楽を耳にすると南米の色艶やかな自然風物と楽天的な民族の生活リズムが目に見えます。日本の伝統音楽には、四季折々の美しい自然を敬い、質素な生活リズムの中に心の安らぎを求めている農耕民族の風情が詠われているような気がします。本演奏会が少しでも伝統音楽に親しみを感じさせ、現代の華奢な生活リズムや自然破壊を見直す機会になれば幸いです。(第15回)

志登茂川の干涸では、冬の渡り鳥が年の瀬の慌しさにソッポを向きながら群舞して初冬の一コマコマを映し出しています。物質万能の世相の中、心の修養楽器である琴と尺八に青春をかけ、調和のとれた美しい二十一世紀への一コマを連想させてくれるよう期待したいものです。(第17回)

12月も半ばになると、朝晩の冷え込みも厳しく人の心や身体も引き締まってくる。人々は暮らしの中で心身が緊張すると、音を楽しんだり、身体を動かしたりして緊張を解きほぐしている。古い民族音楽は、民族の生活・伝統・宗教・風俗習慣・風土から洗練して創られた音楽である。しかし、時代の変遷と共に娯楽性が失われる反面、音楽の中の神秘性・哲学性に関心もたれるようになる。儒教

音楽の流れをくむ日本の古典音楽が大衆化されたのは、中国の遺臣が日本に亡命して儒学を伝えた江戸時代以降である。琴は雅楽における合奏用の楽器として中国から渡来した格調の高い楽器であり、「琴は禁なり、邪念を禁ずるものなり」と詠われている。本日の演奏会を機に邪念を忘却し、新たなる歳の生活リズムを企てるきっかけが得られれば幸甚である。(第18回)

幼き頃に夢見た月や星の物語もロケットと人工衛星に打ち砕かれ、若き日に旅した山や川も禿げ山と汚泥に浸蝕され、汗水たらして耕した田や畑もアスファルトの道とコンクリートの建物に化してしまった。現代社会に生きる新人類は、ブラウン管と紙幣に一喜一憂し、汚れた空気を吸いながら心身のバランスを崩して騒音社会に徘徊する。ふるさとでの自然や宇宙のロマンが消滅していく中、心をなごませる特効薬の1つとして邦楽鑑賞を再認識して戴ければ幸甚です。(第19回)

ここ数年毎年続く異常気象、そのうちに今の異常が平常化される時代が来るような気がしてなりません。近年の異常気象は春夏秋冬の景観や味覚を失わせ、自然を愛する心や思いやりを薄れさせています。自然に恵まれた古き時代に日常音楽として栄えた邦楽も、自然破壊の著しい今日、多様な現代音楽の洪水に流されている若者の中で異端児扱いされています。春夏秋冬、美しい四季折々の風情から生まれた邦楽、地球保護や人類愛を再構築するためにも、年に一度は邦楽の神髄に触れたいものです。(第21回)

プロ野球のシーズンオフ、新聞・テレビも何となく物足りないこの頃です。スポーツ特有の筋骨きなきドラマの感動に飢えているような気がします。同じプロ野球でも、巨人野球は感心はするが感動を与えてくれません。近鉄野球は感心しないが感動を与えてくれます。今年の定演も、近鉄野球のように若さ溢れる攻めの演奏を心がけ、聞く人に少しでも感動を与えてくれることを祈ります。(第22回)

世界に誇る伝統美、美しき乙女の振り袖
心地良い琴の音色、素朴な尺八の響き
師走の慌ただしい世相の中
憩いのひとときを若者の演奏に
耳を傾けて頂ければ幸甚です。(第23回)

日本の気候風土、そこには春夏秋冬があり花鳥風月の美しさがあります。日本の文化は木の文化とも言われ、心技体のバランスを大切にしています。現代社会から遠ざかりつつある伝統音楽、そこには桐や竹が醸し出す心地よい音、艶やかな乙女の奏でる美しさがあります。肌触りの良い木のやさしさは、